

第812号 2013年2月9日発行 日本共産党裾野支部



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2



岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

明るい裾野

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

党ができて91年間、弱い者、困っている人の味方一直線の共産党。

困ったことは小沢、岡本のなんでも相談へ

①幼稚園と保育園とを一緒にし 民営化しようとする市の説明会が行われます ②久根地先三軒堀川で河川移動工事が行われています ③柳端橋架け替え工事も進行中 ④都市計画道路見直し意見書はたったの4通 これでいいの？

裾野市が 「第 回 西地区公立幼児施設整備説明会」を開催します

子どもにとっても親にとっても大変なことです。参加し、わからないことはわからない!!!と質問しましょう。

「(市の方針を)説明しました」と、
とんとんと進められては困ります。

「明るい裾野」でも、子どもにとっても親にとっても大問題であると指摘してきました。先で行われた裾野市議補選でも論戦の一つとして取り上げてきました。

裾野市は「公立幼稚園・保育園の統合民営化」を進めるための第一弾として説明会を開催します。市によると参加資格は「西幼稚園、西保育園の在園児保護者と西地区在住の子育て世帯(今後子育てを計画している世帯を含む)」のみとしています。開催場所と日時は、

◆西幼稚園 13日(木)13:00～

◆西保育園 15日(土)13:30～

◆市役所地下会議室

16日(日)10:00～12:00

(9:30より受け付け)



この件についての問い合わせ先は市役所
子ども教育課 ☎ 995-1822です)

久根地先の三軒堀川で道路 拡幅のための「河川移動工 事」が行われています



久根地先で道路拡幅事業のため三軒堀川の移動工事が行われています。

裾野市体育館西から岩波駅東(旧いわなみ書店)までの市道は市道2-18号線で裾野市の南北を結ぶ市内主要道路の一つです。一部拡幅がされていますが車の交互通行がスムーズに行われない所が随所にあります。今回工事が進められている場所も道路幅が狭い所があり車が待機しなくてはならないところでした。地主さんのご理解と協力により、三軒堀川を東に移設して道路幅4mの所を5mにして車の交互通行ができる様にする工事で

す。今回(2013年度)は距離62mの工事ですが、2014年度も継続事業として残りの60mの工事を予定しています。

今回のこの場所は交互通行ができないために「三軒堀川に蓋をして道路として利用できないのか」の市民の声が市に寄せられていましたがその話を聞いた共産党の小澤良一議員は、カワセミが飛び交う状況と水のせせらぎを残す必要性を担当者に話し「蓋をしての道路拡幅はしない様に求めてきました」。

市担当部署の方々が、川に蓋をするのではなく河川を移動して道路拡幅の事業に着手したことに対して敬意を表したいと思います。ここを通行する歩行者や車を運転する人々にはご迷惑を掛けてきましたがもうしばらく譲り合いと交通安全にご協力をお願いします。

計画変更なしの 「都市計画道路見直し案」に 委員から異論が出る

裾野市内に計画あるいは現存する都市計画道路(裾野駅西土地区画整理事業地内の10mプロムナード他も含まれる)に対して裾野市都市計画課から今後の都市計画道路事業を継続或いは中止するかの報告書(案)が出されました。その報告に対して広く市民から意見(パブリック・コメント)を求めました(意見募集期間2013年12月9日から2014年1月7日まで)。

公募意見は4件(たったの4件!!)提出され、これを受けて1月20日裾野市都市計画審議会が開かれました。

今回の見直しで担当職員から、上位計画の裾野市総合計画や裾野市都市計画マスタープランの計画からして都市計画道路の事業変更(道路計画の中止や見直し)はなく道路計画 21 路線は「継続」との報告がされました。

委員からは、
①裾野市の財政が厳しい中、道路計画は見直すべきで廃止路線が出て良いの

ではないのか。②見直し(県の表現に従って「必要性再検証」の表現に変更)と言っていたのだから白紙から必要性を考えるべきで上位計画を全面に出すのは可笑しい③公募意見が4件とは、人口から考えてもすくなく、市民の意見が反映されていない。これは市民に対する説明不足ではないのか。④道路計画を進めるにしても相当の期間を掛かることになり、計画に関係する地権者の理解が得られるのか、など意見が出されました。

審議会都市計画課長から、近く新都市計画マスタープラン作成の話が出されました。今回道路計画再検証案の提示を受けましたが審議会としては結論を出さず今後の審議会の計画の中で取り扱いを決めることになりました。

審議会委員は平成 24・25 年度の 2 年間委員で任期切れとなりました。議会から 5 名の議員が委員と成っていましたので紹介致します。小澤良一・渡部昭三・内藤法子・杉本平治・土屋秀明各議員です。



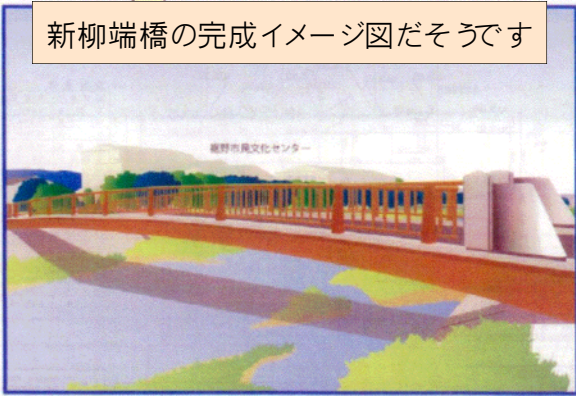
柳端橋架け替え工事が進んでいます 今号が発行される頃にはつながっているかもしれません

「ここのこ」で以前に紹介した柳端橋の架け替えです。以前調べた範囲では裾野で二番目に古いコンクリート製の橋です。古いのと狭いのとで現在の橋のすぐ下流に新しい橋が作られています。

工事期間は 1 月 27 日から 2 月 15 日までとなっています。現場でコンクリートを打つのではなく、橋の構造体を他で造って持ってきて組み立てる方式なのでこんな短期間で造ることが出来るのです。接続する道路も新しく造られています。



新柳端橋の完成イメージ図だそうです



今里新田のバス停です。ここは市内でも唯一、登りと下り両方向にバス停があります。横断歩道の両端に設置されています。きれいに整備されているのを見るとよく利用されている待合所と見受けました。



よくわかる 政治喫茶室

NHK 会長や NHK 経営委員の「とんでも」発言が続いています。放送法から見た発言の問題点と安倍首相の任命責任を見てみます。放送法第4条4項には、

第四条 四 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

とあります。

もみい
榊井勝人NHK会長は日本軍慰安婦問題について「戦争しているどこの国にもあった」「政府が右といっていることに左とは言えない」と発言。作家である百田尚樹NHK経営委員会委員は「南京大虐殺はなかった」。さらにに大学名誉教授でもある長谷川三千子経営委員も、男女共同参画を批判したり、新聞社を脅して拳銃自殺した(編集部注：これは普通テロという行動ではないでしょうか)右翼団体元幹部を礼賛しています。

安倍首相が「お友達」である榊井、百田、長谷川各氏の任命者です。任命責任も放送法もそっちのけで3氏の発言を「個人的発言」「個人の行動」と知らぬ振り。「選挙で勝ったからなんでも出来る。怖いものなし」と言う態度です。

しかし、そう思い通りに歴史は進んでいくのでしょうか。海外の報道は厳しく見えています。イギリスのBBC、同フィナンシャル・タイムズ、フランスのル・モンド、アメリカのニューヨーク・タイムズ、などが「NHKは権力に屈したかに見える」などと批判的に報道しています。日本のマスコミより根幹的な見方をズバリと行っています。(友)